

■概要(経緯)

- ・令和2年7月頃 国道19号の車道路面に微量のクラック(亀裂)を確認・適宜補修を実施
- ・令和3年2月19日 車道路面で30mmの段差及び最大幅50mmの路面クラックを確認したため路面補修及びシール材注入を実施
- ・令和3年2月25日 9時より片側交互通行規制により応急復旧工事を開始
- ・令和3年3月21日 降雨の影響により21時に伸縮計の移動量が管理基準値を超過したため通行止めを実施
- ・令和3年3月24日 現時点では、道路法面にある伸縮計の移動量が約60cmほど川側へ断続的に移動している状況であるため、安全のため全面通行止めを継続中(緊急車両と路線バスは除く)

■現地写真



・路面クラック状況 2月19日撮影



3月6日撮影

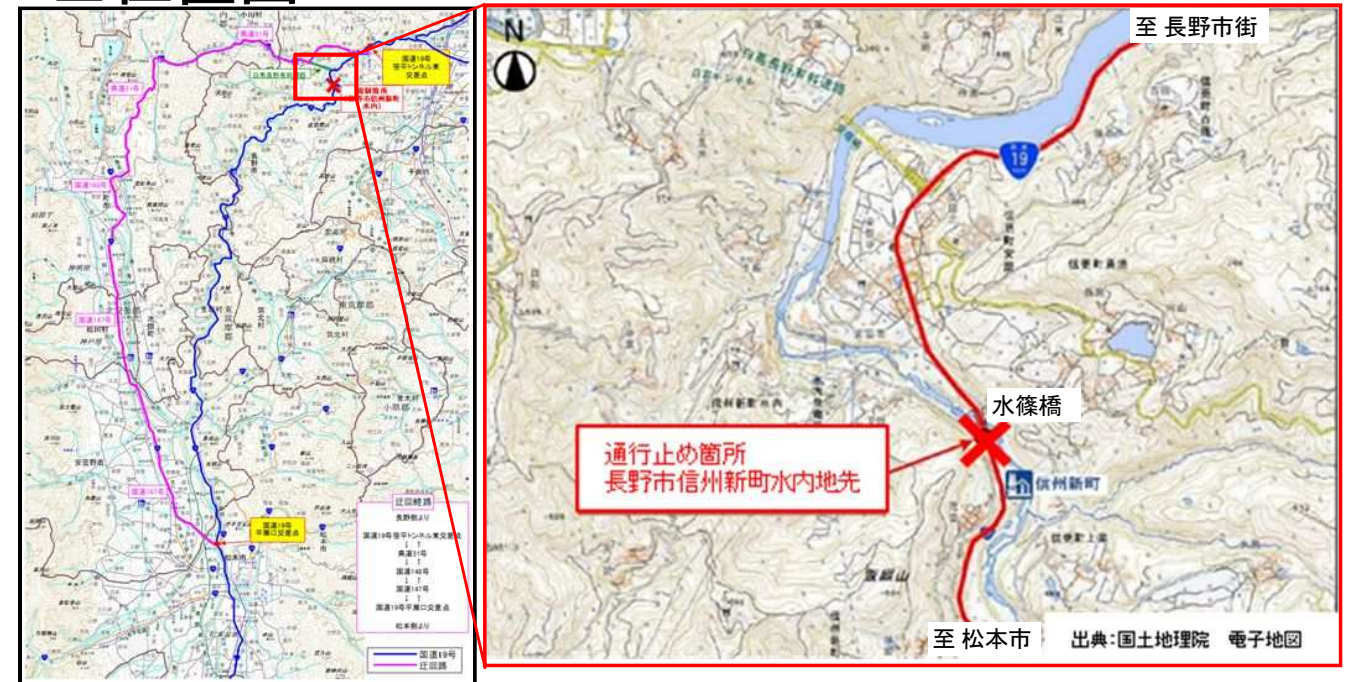


・鋼矢板打設完了後 3月16日撮影

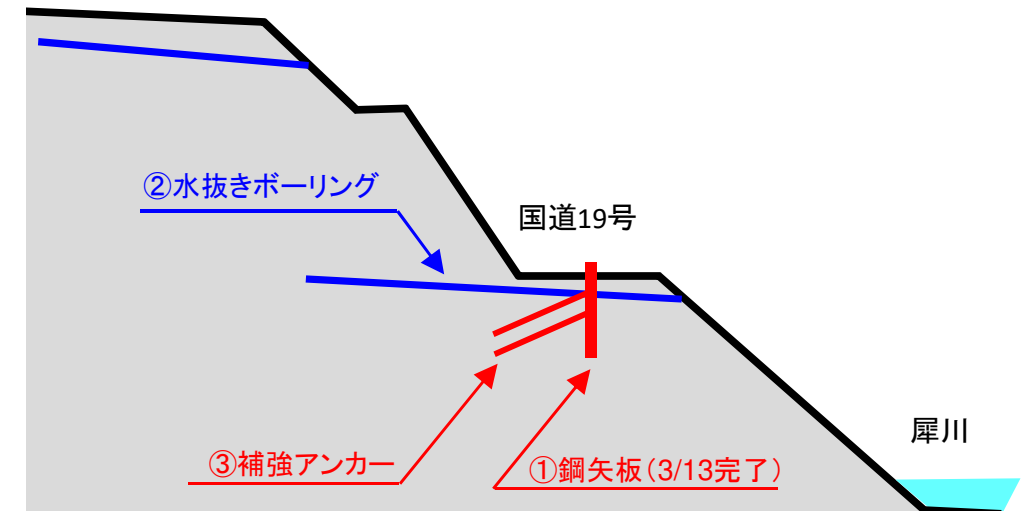


3月24日撮影

■位置図



■応急復旧工事



【応急復旧工事の予定】

- ①下り車線の安全を確保するため鋼矢板を施工(3月13日完了済)
- ②地下水位を下げて地盤を安定させるため水抜きボーリングを施工(3月18日から5月中を目途)
- ③河川側への沈下時に、下り車線を保護するために、鋼矢板に補強アンカー施工(概ね7月から8月中を目途)